

～ 盛岡タイムス 紙齢15,000号を祝って～

大沢会計のお客様密着、“一体型フルサポート”が、地域密着の盛岡タイムスの編集方針と相通じるので応援しています。

盛岡タイムス紙齢15000号記念 特別インタビュー

「地域に住む人の道案内となるように」

(株)大沢会計&人事
コンサルタント所長 大沢英夫(69)



盛岡タイムス紙齢15000号を迎えられます。心よりお祝い申し上げます。僥越ですが30年超の愛読者としてメッセージとエールをお送りしたいと思っております。

私たちにとって、新聞は日々の情報源であり、短時間で全文を知ることが出来るツールです。私は全国紙のネット会員にもなっており、過去の記事の一つ一つを検索することもできますが、それは一回の検索に対して、一つの記事しか読むことができません。紙媒体だとそれを自由に、どこからでも読

み進めることができるのが強みだと思います。私は毎朝、盛岡タイムスでは、まず1面を読みます。次に社会面を読み、2面、3面に戻っていきます。新聞社によって一つのニュースの切り口が異なりますが、盛岡タイムスは、地域に密着して、足で稼いで取材しているところが大きな特長でしょう。紙面はコンパクトに、ページ建ては少な

くとも、必要な情報をまとめているところが大きなメリットだと思います。個人的に地域の新聞

として、市内エリアでの部数がさらに増えていくのを望みます。もっと購読者を増やすため、これからの紙面づくりの一案ではありますが、盛岡エリアを東と西に大きく二つにわけて、地元

の関心事などを常時反映させてみてはどうでしょうか。

私たちの生活単位のエリアは、おおよそ公立の中学校の学区割からなっています。しかしこの区分では取材エリアが細分化され過ぎて、追いつけないでしょう。

そこで取材エリアを、盛岡市東西の警察署管内をモデルに区分けしてみてもどうでしょうか。各町内に通信員をおいてもよいと思

います。それぞれが自分たちの住む町の情報を常時発信していくことで、「街づくりの仕掛け人」や、「担い手」を意識することができ

■ 盛岡タイムス15000号のあゆみ ■

- 1962年 2月17日 有限会社岩手写真製版社設立 初代社長・菊池美文
- 1968年 8月 4日 一般家庭向け住宅情報紙「住宅タイムス」発刊、毎週日曜日発行
- 1969年10月28日 「盛岡タイムス」創刊(これに伴い住宅タイムスは廃刊)＝タブロイド判8ページ、毎週月曜日を休刊日
- 1970年 1月 5日 全日発行開始
- 1980年10月20日 オフセット印刷に移行
- 1983年 2月26日 有限会社盛岡タイムス社に社名変更
- 1984年12月 1日 第2代社長に奥寺一雄就任
- 1984年10月15日 紙齢5000号
- 1988年12月 1日 活字を8ポイントから9ポイントに拡大
- 1989年 2月15日 安倍一族顕彰事業開始
- 1990年 5月23日 紙齢7000号。タブロイド判からブランケット判8ページに移行
- 1992年10月29日 高速輪転機・カラーサテライト導入、カラー版も発行
- 1995年 2月 6日 阪神・淡路大震災被災地取材に記者派遣
- 1995年 9月11日 紙齢8888号(9月22日)記念 水墨画家の傳益瑤(フ・イーヤオ) 女史特別講演会「日本と中国の文化―水墨画の世界を通して」
- 1996年 3月 1日 新聞製作システム(CTS)「システム1000」稼働
- 1996年 8月 6日 「『原爆の図』岩手平和展一丸木位里・俊画業展」開催
- 1998年11月16日 紙齢10000号
- 1998年11月17日 紙齢10000号記念「小和田前国連大使講演会」開催
- 1999年12月 4日 編集・製作に連なる社内LAN構築
- 2002年 9月13日 第3代社長に大内豊就任
- 2003年 6月10日 CTS更新・刷版製作システム(CTP)稼働、カラー印刷本格開始
- 2004年 3月 1日 自社Web開設
- 2004年12月 1日 盛岡広域圏天気予報欄新設
- 2006年 5月 8日 輪転機1台増設、16ページ発行が可能に
- 2011年 3月11日 読売新聞から記事配信を受け10ページ、毎日カラー紙面提供
- 2011年 3月11日 東日本大震災津波発生。本社から沿岸被災地に記者を随時派遣、継続して特集
- 2011年 6月11日 「復興釜石新聞」当社で印刷
- 2011年 9月 東日本大震災写真集「ありがとう自衛隊」発行
- 2012年 5月20日 新聞組み版システム「新聞王システム」(東機エレクトロニクス社)を導入
- 2012年12月24日 紙齢15000号



2012年(平成24年) 12月24日(月曜日) 第15000号

盛岡タイムス社
〒020-0010
盛岡市本町通3丁目9番33号
電話 (019) 653-3111(代)
FAX (019) 622-5119
HP http://moroka-times.com
Eメール times@moroka-times.com
〒020-0001 13号室 1001